

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	南部市民プラザ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	1
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	文化創造課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 塩浜町7丁目135番地	敷地面積	5,071 ㎡
	( 大浜小学校区 )	うち借地面積	1,905 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	南部市民プラザ				
複合・併設施設	市民図書館南部分館				
建築年度	平成3 年度	経過年数	27 年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,564 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2 階	階数(地下)	1 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態	
	47,091 人		45,139 人		47,357 人		46,529 人	直営	
施設コスト※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)	収入	内 訳		金額(円)		支出	内 訳		
		利用料等	2,367,188		①維持コスト		人件費(賃金含)	1,473,558	
		国 費	-				修繕料	597,197	
		県 費	-				火災保険料	23,488	
		その他	371,043				維持管理委託料	7,021,219	
	市費(一般財源)	23,220,358		敷地借上料		2,410,172			
	合 計		25,958,589		②運営コスト	工事請負費	75,600		
	施設外観				その他維持費	-		小 計	11,601,234
					②運営コスト	人件費(賃金含)	8,159,656		
					②運営コスト	光熱水費	4,880,485		
				②運営コスト	その他委託料	-			
				②運営コスト	その他運営費(事業費)	1,317,214			
				②運営コスト	小 計	14,357,355			
				合計(①+②)	25,958,589				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	558 円/人				10,124 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
51 円/人				319 円/人					
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

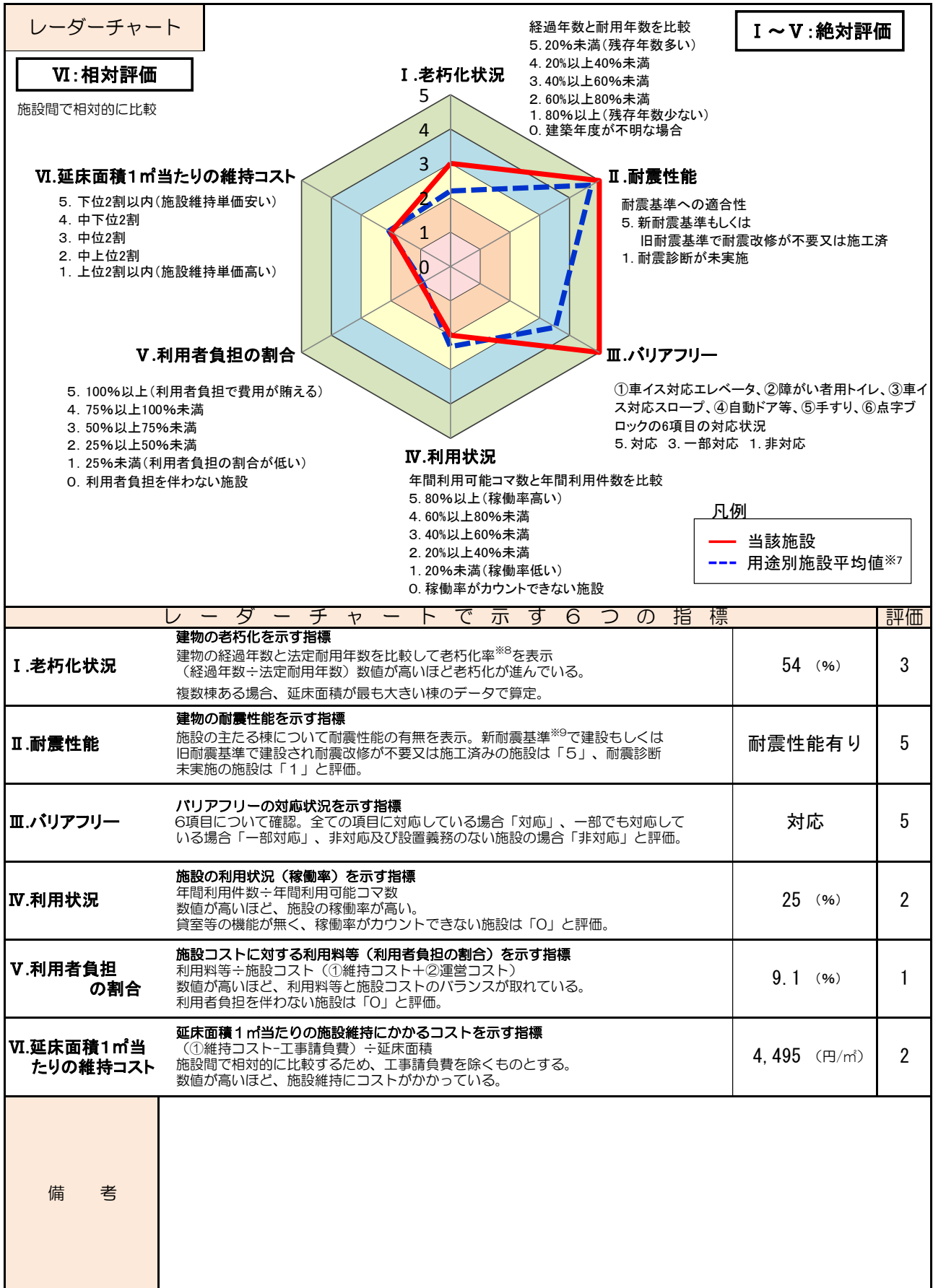
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	東部市民プラザ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	2
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	高齢介護課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 照光町5丁目3番地	敷地面積	9,000 ㎡
	( 鷲塚小学校区 )	うち借地面積	816 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	東部市民プラザ				
複合・併設施設	東部出張所、高齢者元気ッス館、東部児童センター、碧南東部地域包括支援センター				
建築年度	平成12年度	経過年数	18年	総取得費	1,240,626千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	3,294 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度	H28年度	H29年度	平均利用者数	管理形態		
	60,201人	55,045人	54,280人	56,509人	直営		
施設コスト※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)	
	収 入	利用料等		3,799,065	支 出	人件費(賃金含)	-
		国 費		-		修繕料	2,617,150
		県 費		-		火災保険料	245,579
		その他		531,315		維持管理委託料	20,583,913
		市費(一般財源)		65,016,241		敷地借上料	713,253
	合 計		69,346,621	工事請負費		817,740	
	施設外観					その他維持費	-
						小 計	24,977,635
						②運営コスト	
				人件費(賃金含)		18,163,839	
				光熱水費	18,521,572		
				その他委託料	-		
				その他運営費(事業費)	7,683,575		
				小 計	44,368,986		
				合 計(①+②)	69,346,621		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	1,227 円/人		21,052 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
	67 円/人		894 円/人				
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

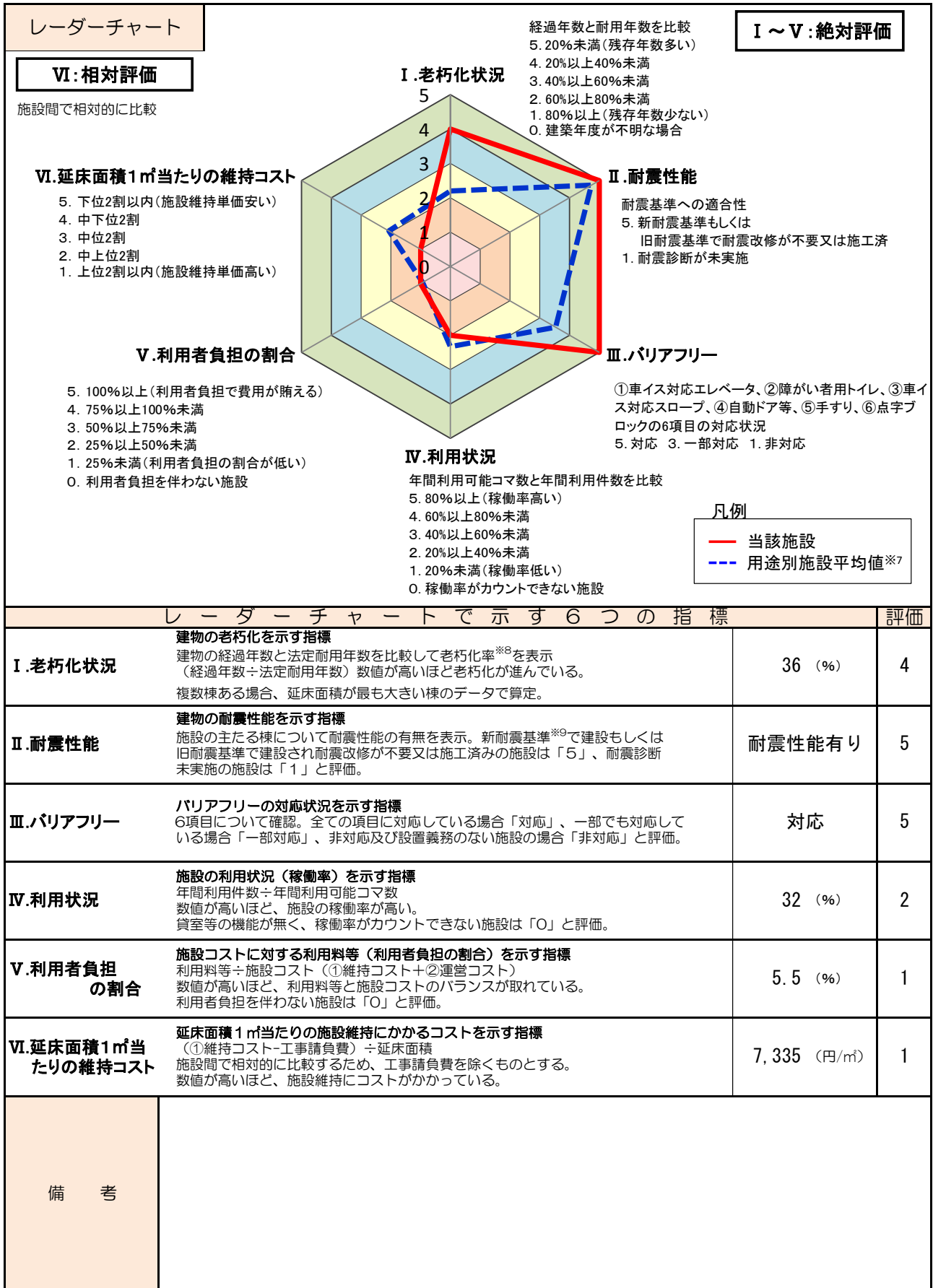
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	中央公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	文化会館		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	3
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 源氏神明町4番地	敷地面積	- m <sup>2</sup>
	( 中央小学校区 )	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	中央公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和53年度	経過年数	40年	総取得費	359,048千円
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	2,659 m <sup>2</sup>	うち借用面積	- m <sup>2</sup>
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度	H28年度	H29年度	平均利用者数	管理形態		
	67,019人	67,991人	60,732人	65,247人	直営		
施設コスト※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	3,006,360	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国 費	-		修繕料	985,487	
		県 費	300,666		火災保険料	20,018	
		その他	1,206,033		維持管理委託料	8,132,844	
		市費(一般財源)	44,026,601		敷地借上料	1,020,706	
	合 計		48,539,660	工事請負費	2,026,225		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	12,185,280		
				②運営コスト	人件費(賃金含)	17,448,470	
			光熱水費	4,155,774			
			その他委託料	4,797,511			
			その他運営費(事業費)	9,952,625			
			小 計	36,354,380			
			合 計(①+②)	48,539,660			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m <sup>2</sup> 当たりの施設コスト※4				
	744 円/人		18,255 円/m <sup>2</sup>				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
46 円/人		605 円/人					
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

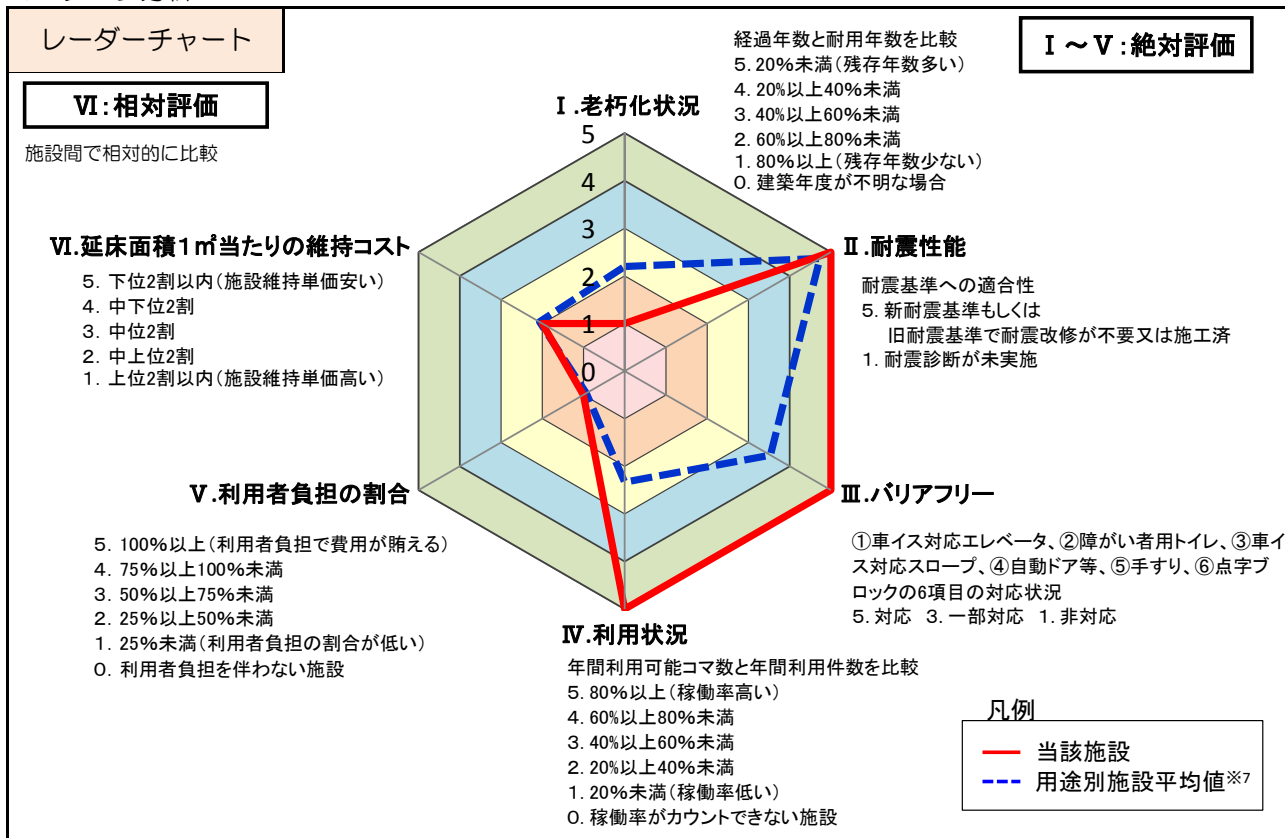
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m<sup>2</sup>当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標			評価
<b>I. 老朽化状況</b>	<p><b>建物の老朽化を示す指標</b></p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。 複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。</p>	80 (%)	1
<b>II. 耐震性能</b>	<p><b>建物の耐震性能を示す指標</b></p> <p>施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。</p>	耐震性能有り	5
<b>III. バリアフリー</b>	<p><b>バリアフリーの対応状況を示す指標</b></p> <p>6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。</p>	対応	5
<b>IV. 利用状況</b>	<p><b>施設の利用状況 (稼働率) を示す指標</b></p> <p>年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。 貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。</p>	506 (%)	5
<b>V. 利用者負担の割合</b>	<p><b>施設コストに対する利用料等 (利用者負担の割合) を示す指標</b></p> <p>利用料等÷施設コスト (①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。 利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。</p>	6.2 (%)	1
<b>VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト</b>	<p><b>延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標</b></p> <p>(①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。 数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。</p>	3,821 (円/㎡)	2
備考			

※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	新川公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	4
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町2丁目1番地1	敷地面積	4,554 ㎡
	( 新川小学校区 )	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	新川公民館、多目的トイレ				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和55～平成19年度	経過年数	11～38年	総取得費	83,877千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	577㎡	うち借用面積	-㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度	H28年度	H29年度	平均利用者数	管理形態	
	29,790人	28,394人	28,997人	29,060人	直営	
施設コスト※2 (H27～29年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)
	収 入	利用料等	904,057	支 出	人件費(賃金含)	2,210,337
		国 費	-		修繕料	48,600
		県 費	-		火災保険料	3,707
		その他	52,923		維持管理委託料	979,035
		市費(一般財源)	26,270,260		敷地借上料	-
	合 計		27,227,240	工事請負費	9,588,960	
	施設外観			その他維持費	10,000	
				小 計	12,840,639	
				②運営コスト	人件費(賃金含)	9,578,127
			光熱水費	1,089,379		
			その他委託料	2,764,171		
			その他運営費(事業費)	954,924		
			小 計	14,386,601		
			合 計(①+②)	27,227,240		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4			
	937円/人		47,188円/㎡			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
31円/人		361円/人				
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

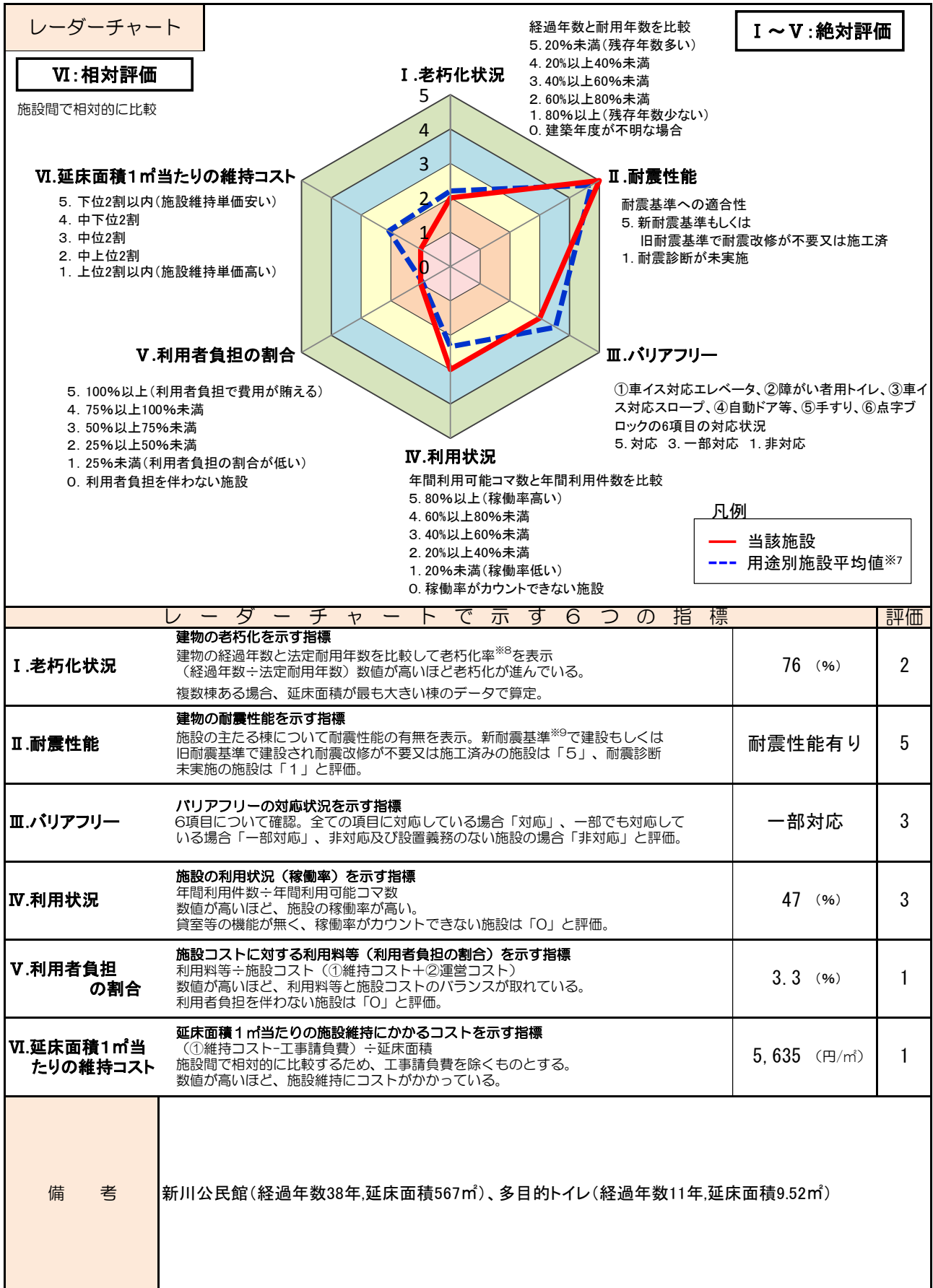
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。



# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	中部公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	5
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 向陽町3丁目48番地 ( 中央小学校区 )	敷地面積	1,558 ㎡
		うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	中部公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和60年度	経過年数	33年	総取得費	267,827千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	534㎡	うち借用面積	-㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度	H28年度	H29年度	平均利用者数	管理形態				
	22,992人	21,202人	21,572人	21,922人	直営				
施設コスト※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)			
	収 入	利用料等		614,659	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	2,947,116	
		国 費		-		修繕料	441,162		
		県 費		-		火災保険料	4,901		
		その他		44,043		維持管理委託料	849,003		
		市費(一般財源)		21,587,957		敷地借上料	-		
	合 計		22,246,659	工事請負費		2,007,720			
	施設外観					その他維持費	-	小 計	6,249,902
						②運営コスト	人件費(賃金含)	11,788,465	
						光熱水費	977,357		
				その他委託料		2,211,838			
				その他運営費(事業費)	1,019,097	小 計	15,996,757		
				合 計(①+②)		22,246,659			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	1,015 円/人		41,660 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
28 円/人		297 円/人							
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標			評価
<b>I. 老朽化状況</b>	<p><b>建物の老朽化を示す指標</b></p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示                      (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。                      複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。</p>	66 (%)	2
<b>II. 耐震性能</b>	<p><b>建物の耐震性能を示す指標</b></p> <p>施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。</p>	耐震性能有り	5
<b>III. バリアフリー</b>	<p><b>バリアフリーの対応状況を示す指標</b></p> <p>6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。</p>	一部対応	3
<b>IV. 利用状況</b>	<p><b>施設の利用状況(稼働率)を示す指標</b></p> <p>年間利用件数÷年間利用可能コマ数                      数値が高いほど、施設の稼働率が高い。                      貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。</p>	46 (%)	3
<b>V. 利用者負担の割合</b>	<p><b>施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b></p> <p>利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)                      数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。                      利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。</p>	2.8 (%)	1
<b>VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト</b>	<p><b>延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標</b></p> <p>(①維持コスト-工事請負費)÷延床面積                      施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。                      数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。</p>	7,944 (円/㎡)	1
備考			

※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	大浜公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	6
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 中町1丁目53番地	敷地面積	1,697 ㎡
	( 大浜小学校区 )	うち借地面積	174 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	大浜公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56年度	経過年数	37年	総取得費	81,999千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	543㎡	うち借用面積	-㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態		
	21,654人		24,490人		24,873人		23,672人	直営		
<b>施設コスト※2</b> (H27~29年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)			
	収 入	利用料等		758,685		支 出	人件費(賃金含)	2,947,116		
		国 費		-			修繕料	180,186		
		県 費		-			火災保険料	3,302		
		その他		58,471			維持管理委託料	814,803		
		市費(一般財源)		28,524,051			敷地借上料	219,551		
	合 計		29,341,207		工事請負費		5,004,656			
	施設外観				①維持コスト		その他維持費	3,513,333		
					②運営コスト		小 計	12,682,947		
					合計(①+②)		小 計	16,658,260		
				合計(①+②)			合計(①+②)	29,341,207		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	1,239円/人				54,035円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
32円/人				392円/人						
特記事項										

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	柵尾公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	7
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 汐田町2丁目28番地 ( 柵尾小学校区 )	敷地面積	2,012 ㎡
		うち借地面積	406 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	柵尾公民館				
複合・併設施設	柵尾児童センター				
建築年度	平成10年度	経過年数	20年	総取得費	667,666千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,622㎡	うち借用面積	-㎡
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度	H28年度	H29年度	平均利用者数	管理形態	
	47,997人	42,388人	38,393人	42,926人	直営	
<b>施設コスト</b> ※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)  ① <b>維持コスト</b> 建物を良好に保つ ために要する経費 + ② <b>運営コスト</b> 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)	内 訳		
	収 入	利用料等	1,038,901	支 出	人件費(賃金含)	2,947,116
		国 費	-		修繕料	1,479,431
		県 費	-		火災保険料	18,384
		その他	43,541		維持管理委託料	5,138,504
		市費(一般財源)	27,345,719		敷地借上料	495,667
	合 計		28,428,161	工事請負費	-	
	施設外観			その他維持費	-	
				小 計	10,079,102	
				②運営コスト	人件費(賃金含)	11,788,465
			光熱水費	4,447,481		
			その他委託料	464,000		
			その他運営費(事業費)	1,649,113		
			小 計	18,349,059		
			合 計(①+②)	28,428,161		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4			
	662 円/人		17,527 円/㎡			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	24 円/人		376 円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	日進公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	8
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 日進町2丁目92番地	敷地面積	2,318 ㎡
	( 日進小学校区 )	うち借地面積	628 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	日進公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和58年度	経過年数	35年	総取得費	70,644千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	523㎡	うち借用面積	-㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態	
	25,883人		26,426人		27,381人		26,563人	直営	
<b>施設コスト</b> ※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		540,035		支 出	人件費(賃金含)	2,947,116	
		国 費		-			修繕料	296,788	
		県 費		-			火災保険料	3,887	
		その他		50,707			維持管理委託料	818,403	
		市費(一般財源)		21,524,291			敷地借上料	1,192,209	
	合 計		22,115,033		工事請負費		1,465,624		
							その他維持費	-	
						小 計	6,724,027		
						②運営コスト	人件費(賃金含)	11,788,465	
						光熱水費	902,785		
						その他委託料	1,936,759		
						その他運営費(事業費)	762,997		
						小 計	15,391,006		
						合 計(①+②)	22,115,033		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	833 円/人				42,285 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
	20 円/人				296 円/人				
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

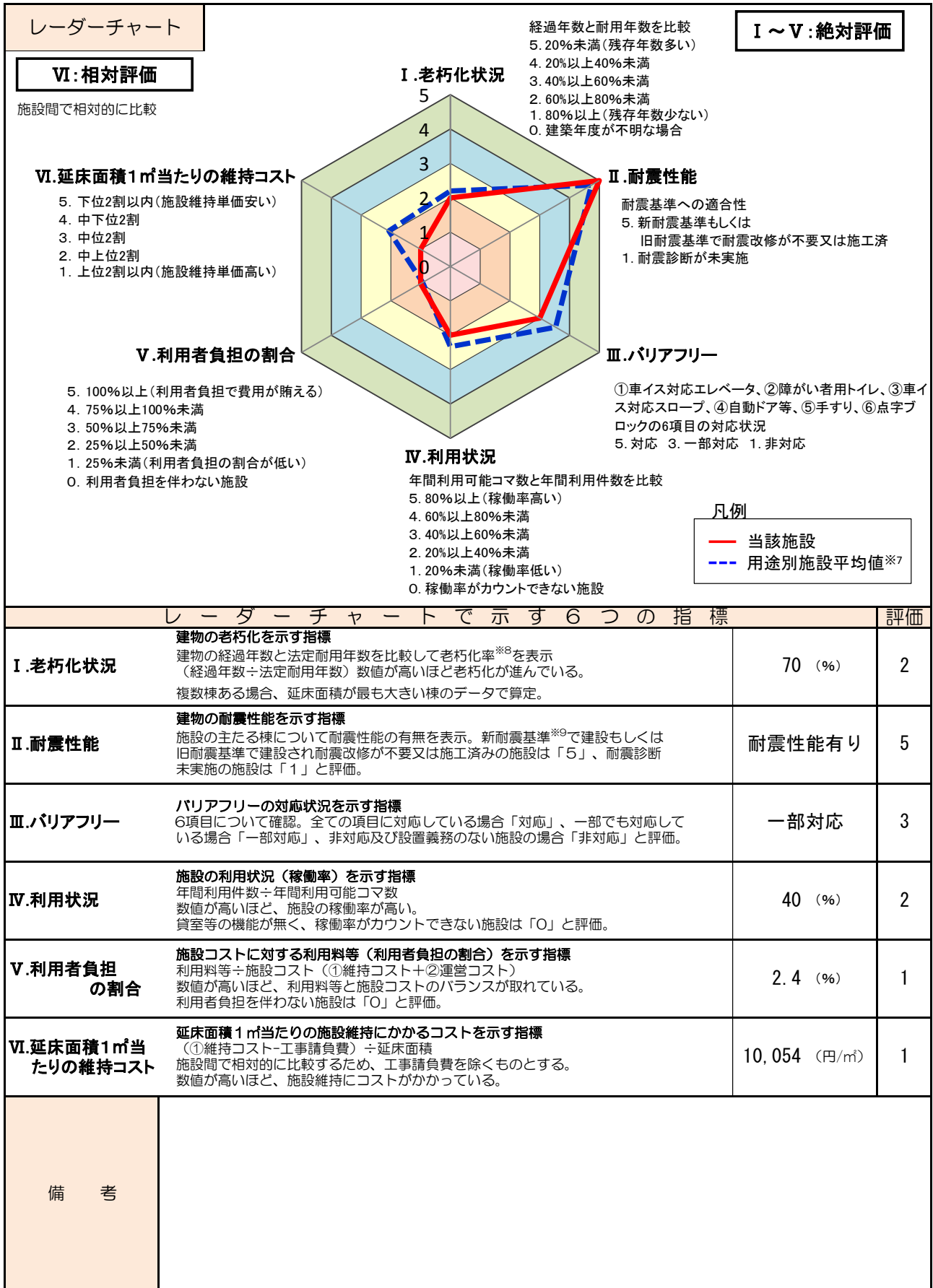
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。  
 ※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。  
 ※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。



# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	鷺塚公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	9
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 旭町2丁目66番地	敷地面積	2,391 ㎡
	( 鷺塚小学校区 )	うち借地面積	710 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	鷺塚公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和57年度	経過年数	36年	総取得費	101,590千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	521 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態	
	24,584人		20,897人		20,878人		22,120人	直営	
<b>施設コスト</b> ※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)  ① <b>維持コスト</b> 建物を良好に保つ ために要する経費 + ② <b>運営コスト</b> 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		522,579		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	3,683,895
		国費		-			修繕料	668,014	
		県費		-			火災保険料	3,831	
		その他		108,528			維持管理委託料	882,008	
		市費(一般財源)		22,238,410			敷地借上料	834,519	
	合 計		22,869,517		工事請負費	2,773,672	その他維持費	-	
	施設外観				小 計		8,845,939		
					②運営コスト 小 計 14,023,578		合 計(①+②)		22,869,517
							延床面積1㎡当たりの施設コスト		43,895円/㎡
			利用者1人当たりの施設コスト				1,034円/人		
コスト状況			利用者1人当たりの負担額		市費に対する住民1人当たりの負担相当額				
			24円/人		306円/人				
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	西端公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	10
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	生涯学習課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 半崎町3丁目60番地	敷地面積	1,105 ㎡
	(西端小学校区)	うち借地面積	920 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	西端公民館、倉庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和52年度	経過年数	41年	総取得費	22,081千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	358㎡	うち借用面積	-㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態	
	4,779人		5,461人		5,512人		5,251人	直営	
<b>施設コスト</b> ※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		54,520		支 出	人件費(賃金含)	736,779	
		国 費		-			修繕料	330,156	
		県 費		-			火災保険料	2,178	
		その他		24,300			維持管理委託料	292,371	
		市費(一般財源)		15,089,522			敷地借上料	-	
	合 計		15,168,342		工事請負費	1,381,088			
	施設外観				その他維持費	-			
					小 計	2,742,572			
					②運営コスト				
				人件費(賃金含)	10,314,906				
				光熱水費	569,290				
				その他委託料	929,000				
				その他運営費(事業費)	612,574				
				小 計	12,425,770				
				合 計(①+②)	15,168,342				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3			延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	2,889円/人			42,370円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5			市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
10円/人			207円/人						
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

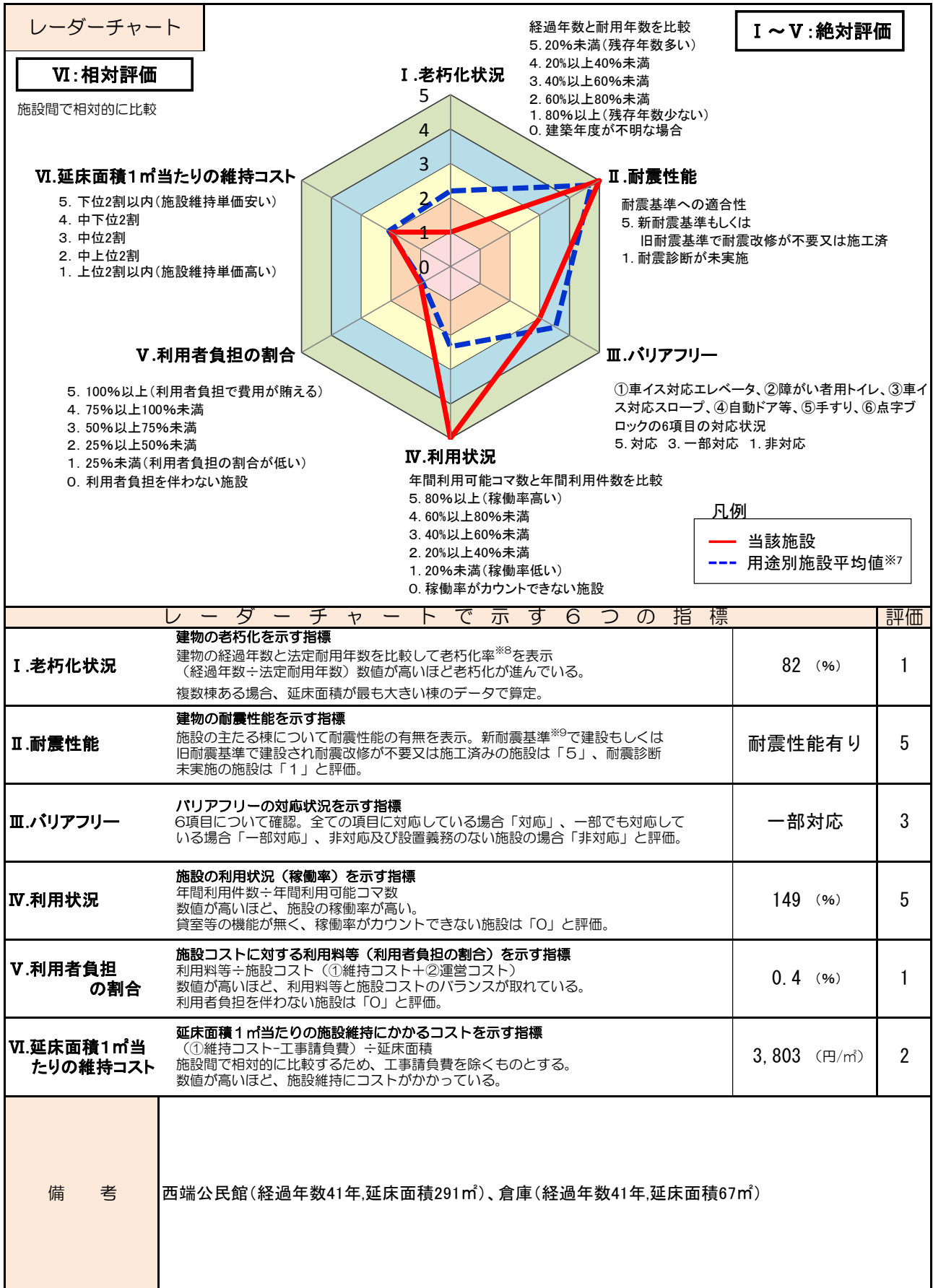
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	農業者コミュニティセンター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	11
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	農業水産課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 神田町2丁目6番地	敷地面積	6,970 ㎡
	(西端小学校区)	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	本棟、北部出張所、屋外便所、器具庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和60～昭和64年度	経過年数	29～33年	総取得費	180,952千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	1,223 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度	H28年度	H29年度	平均利用者数	管理形態		
	51,182人	43,221人	42,992人	45,798人	直営		
施設コスト※2 (H27～29年度) (ファシリティコスト)	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)	
	収 入	利用料等	2,015,290	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	2,201,186
		国 費	-		修繕料	1,298,929	
		県 費	-		火災保険料	51,902	
		その他	606,028		維持管理委託料	1,750,608	
		市費(一般財源)	9,922,266		敷地借上料	-	
	合 計		12,543,584	工事請負費	401,400		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	5,704,025		
				②運営コスト	人件費(賃金含)	3,066,105	
			光熱水費	1,956,493			
			その他委託料	1,290,965			
			その他運営費(事業費)	525,996			
			小 計	6,839,559			
			合 計(①+②)	12,543,584			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	274 円/人		10,256 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
44 円/人		136 円/人					
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

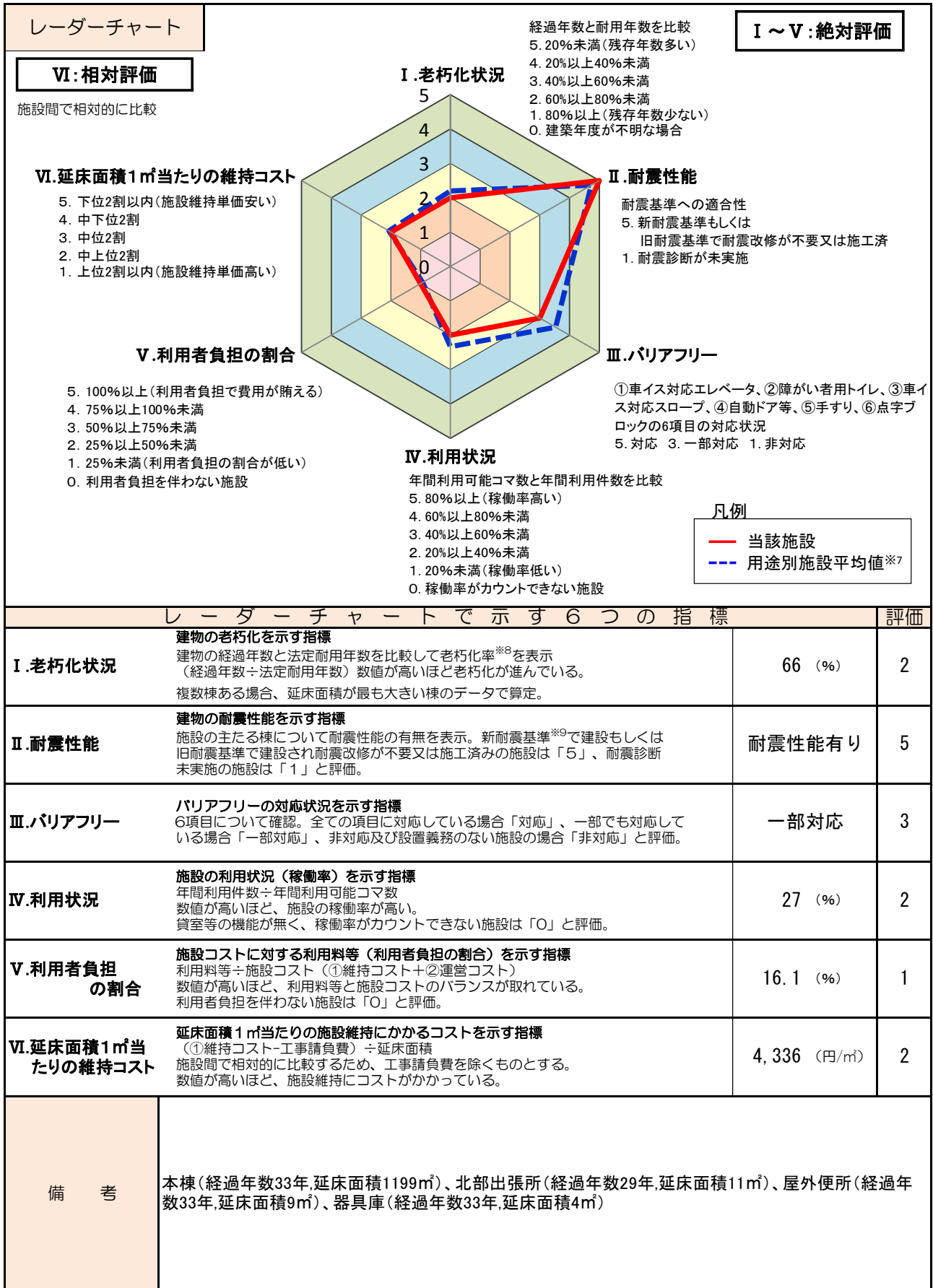
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	前浜集落センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	12
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	農業水産課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 前浜町1丁目80番地	敷地面積	768 ㎡
	( 大浜小学校区 )	うち借地面積	768 ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	新館、本館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56 ~ 昭和63 年度	経過年数	30 ~ 37 年	総取得費	54,793 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	585 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態	
	5,573 人		6,083 人		9,423 人		7,026 人	指定管理(利用料金)	
施設コスト※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)	収入	内 訳		金額(円)		支出	内 訳		
		利用料等			-		①維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国 費			-			修繕料	398,455
		県 費			-			火災保険料	4,516
		その他	202,748					維持管理委託料	-
	市費(一般財源)	1,164,584			敷地借上料	-			
	合計		1,367,332			工事請負費	-	その他維持費	-
	施設外観						小 計	402,971	
	①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費						②運営コスト	人件費(賃金含)	-
	+ ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費							光熱水費	526,151
						その他委託料		119,494	
						その他運営費(事業費)		318,716	
						小 計	964,361		
						合計(①+②)	1,367,332		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	195 円/人				2,337 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
- 円/人				16 円/人					
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

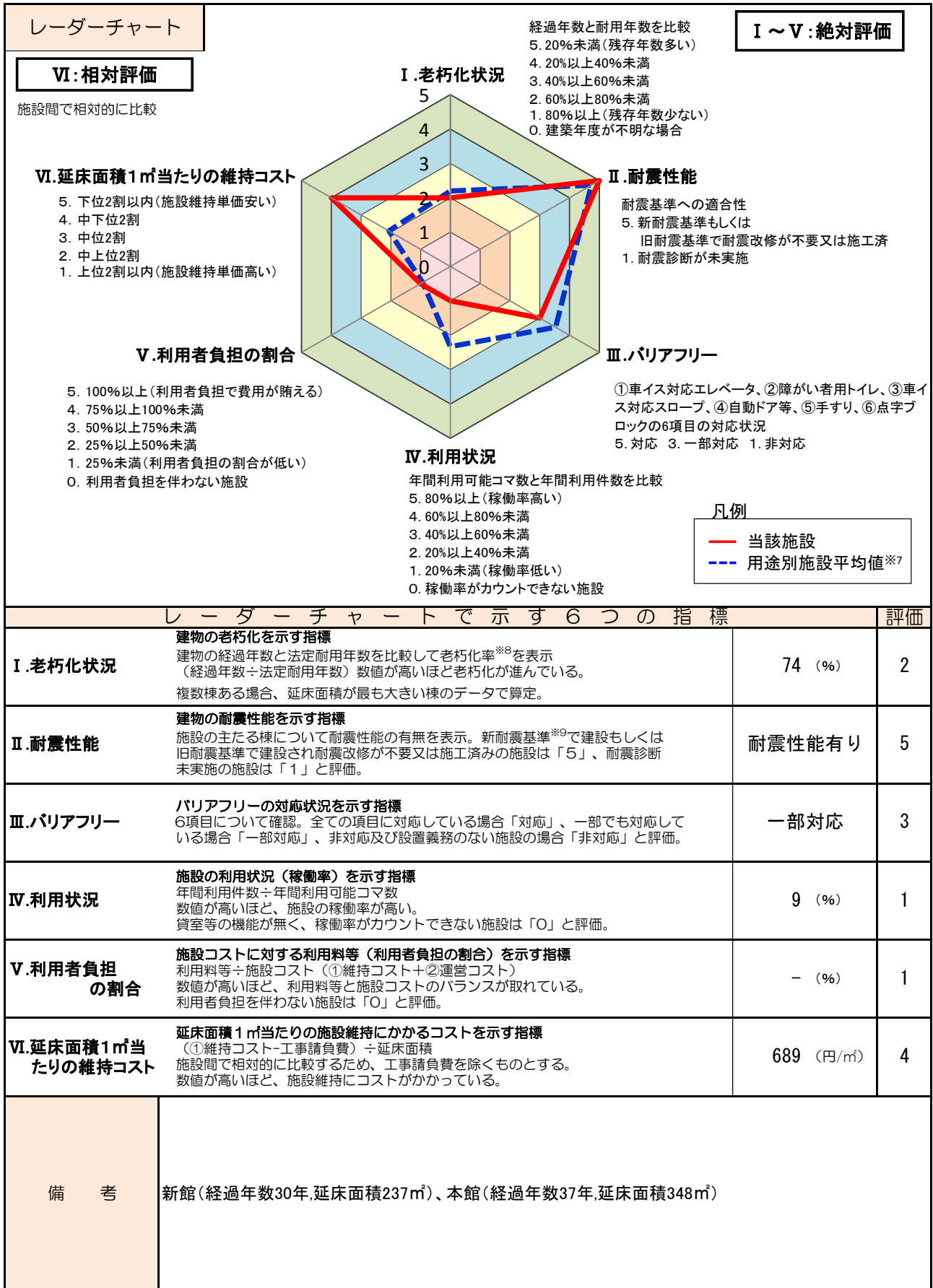
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。



# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	川口農業センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	13
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	農業水産課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 川口町1丁目24番地2	敷地面積	412 ㎡
	( 大浜小学校区 )	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	川口農業センター				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和57年度	経過年数	36年	総取得費	52,480千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	272 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態			
	2,288人		2,389人		1,937人		2,205人	指定管理(利用料金)			
<b>施設コスト</b> ※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト)  ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国費		-			修繕料	503,205			
		県費		-			火災保険料	2,420			
		その他		123,031			維持管理委託料	-			
		市費(一般財源)		1,162,731			敷地借上料	-			
	合 計			1,285,762			工事請負費	-		その他維持費	-
	施設外観				小 計			505,625			
					②運営コスト		人件費(賃金含)	-			
							光熱水費	370,115			
							その他委託料	55,634			
						その他運営費(事業費)	354,388				
				小 計			780,137				
				合 計(①+②)			1,285,762				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	583円/人				4,727円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
-円/人				16円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

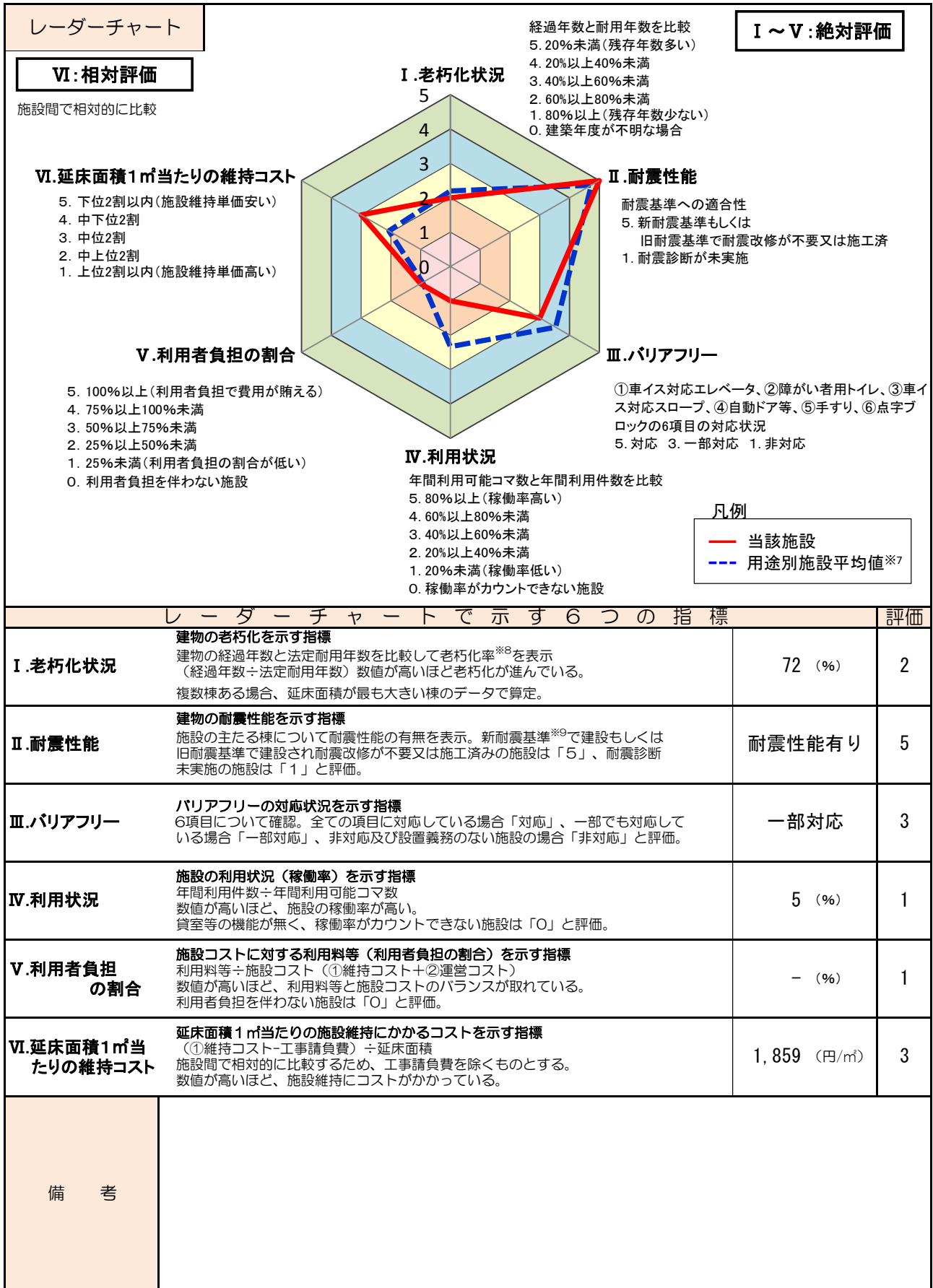
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	川口町集会場・憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	14
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	資産活用課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 川口町1丁目24番地	敷地面積	741 ㎡
	( 大浜小学校区 )	うち借地面積	- ㎡

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	川口町集会場・憩いの家				
複合・併設施設	-				
建築年度	- 年度	経過年数	- 年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造+木造	延床面積	331 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度	H28年度	H29年度	平均利用者数	管理形態		
	- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
施設コスト※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)	
	収 入	利用料等	-	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国 費	-		修繕料	-	
		県 費	-		火災保険料	1,595	
		その他	-		維持管理委託料	12,600	
		市費(一般財源)	14,195		敷地借上料	-	
	合 計		14,195	工事請負費	-	その他維持費	-
	施設外観				小 計	14,195	
				②運営コスト	人件費(賃金含)	-	
				光熱水費	-		
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	-			
			小 計	-			
			合 計(①+②)	14,195			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	- 円/人		43 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
- 円/人		-					
特記事項	昭和48年に開拓農協から譲渡された施設です。						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

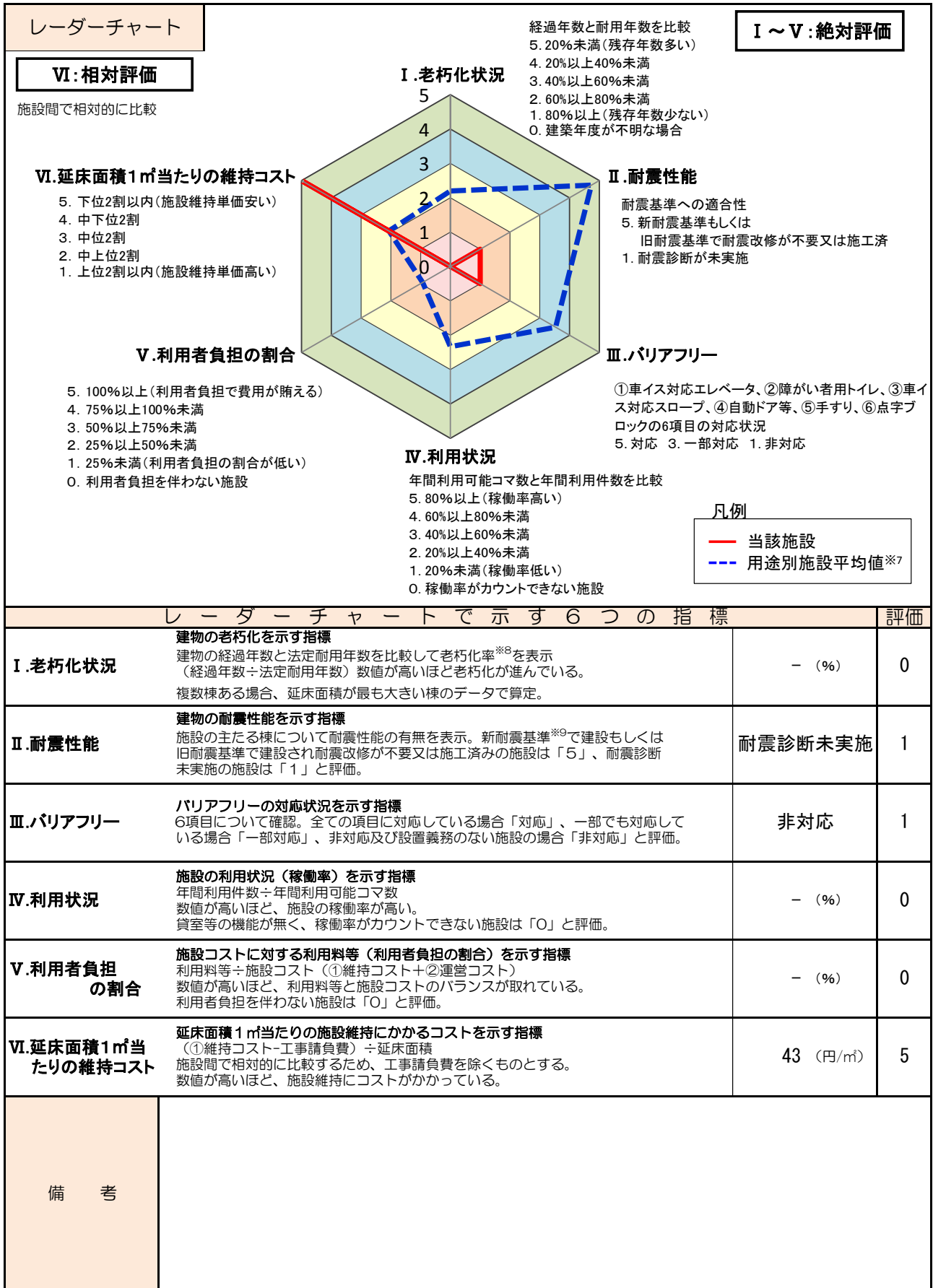
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

# 碧南市公共施設カルテ

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	市民活動センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	へきなん福祉センターあいくる		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	15
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	地域協働課
------	-------

## 1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 山神町8丁目35番地	敷地面積	- m <sup>2</sup>
	( 新川小学校区 )	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	市民活動センター				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成25年度	経過年数	5年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	245 m <sup>2</sup>	うち借用面積	- m <sup>2</sup>
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

## 3 管理運営データ

利用状況※1	H27年度		H28年度		H29年度		平均利用者数	管理形態	
	9,271 人		10,068 人		9,708 人		9,682 人	指定管理(管理料)	
施設コスト※2 (H27~29年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		216,550		支 出	人件費(賃金含)		-
		国 費		-			修繕料		-
		県 費		-			火災保険料		-
		その他		-			維持管理委託料		-
		市費(一般財源)		18,009,111			敷地借上料		-
	合 計		18,225,661		工事請負費			-	
	施設外観						その他維持費		237,988
							小 計		237,988
							②運営コスト		
					人件費(賃金含)			11,270,411	
					光熱水費		-		
					その他委託料		6,274,311		
					その他運営費(事業費)		442,951		
					小 計		17,987,673		
					合 計(①+②)		18,225,661		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1m <sup>2</sup> 当たりの施設コスト※4				
	1,882 円/人				74,390 円/m <sup>2</sup>				
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
	22 円/人				248 円/人				
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

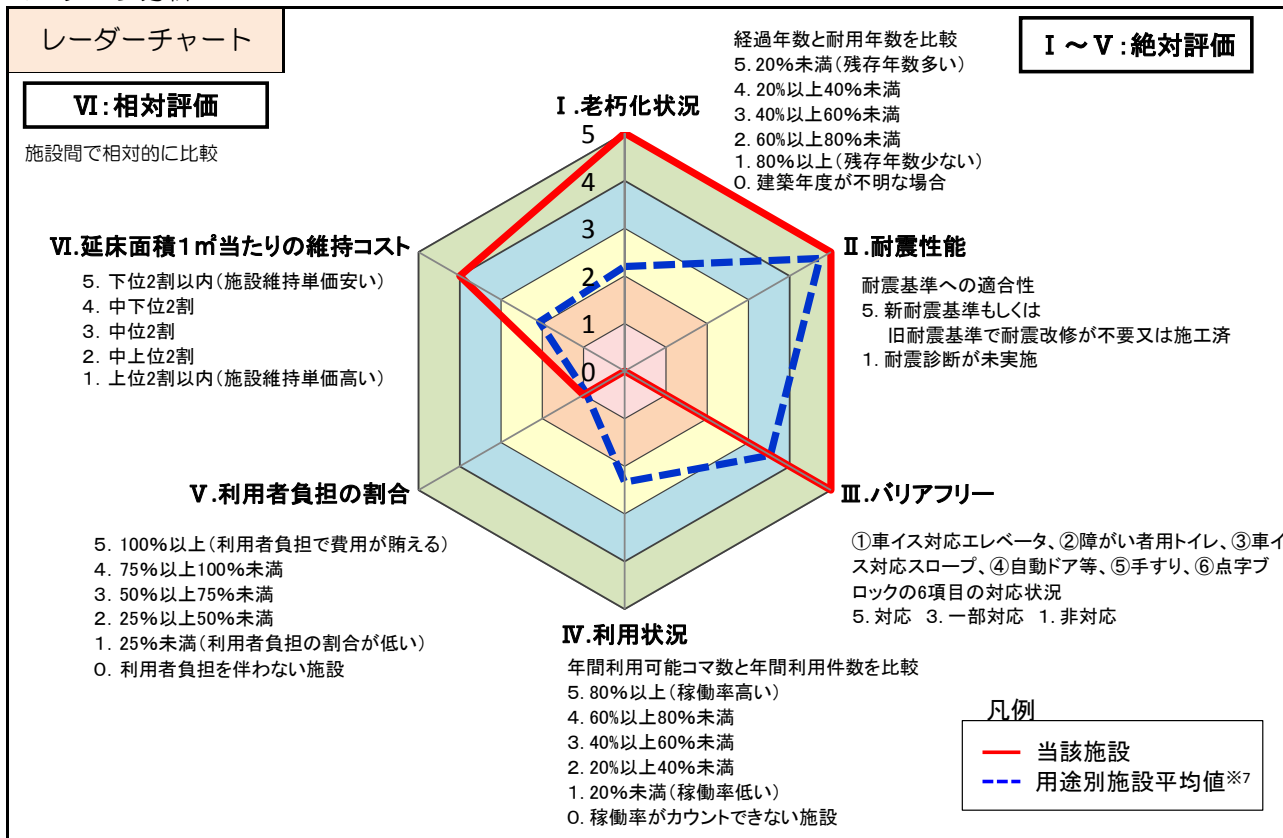
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m<sup>2</sup>当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成30年4月1日現在の72,762人)

#### 4 データ分析



#### レーダーチャートで示す6つの指標

指標	評価
<b>I. 老朽化状況</b> <b>建物の老朽化を示す指標</b> 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。 複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。	10 (%) 5
<b>II. 耐震性能</b> <b>建物の耐震性能を示す指標</b> 施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。	耐震性能有り 5
<b>III. バリアフリー</b> <b>バリアフリーの対応状況を示す指標</b> 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。	対応 5
<b>IV. 利用状況</b> <b>施設の利用状況(稼働率)を示す指標</b> 年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。 貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。	- (%) 0
<b>V. 利用者負担の割合</b> <b>施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</b> 利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。 利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。	1.2 (%) 1
<b>VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト</b> <b>延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標</b> (①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。 数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。	971 (円/㎡) 4

備考

※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。